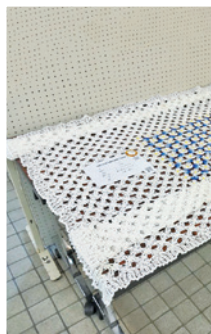


趣味活動でいきいき 多久市高齢者趣味の作品展



YouTube で動画が見れます！

6/10[Mon]~21[Fri]



▲長尾フサさんの作品「令和」と
今泉静子さんの作品「テーブルクロス」

6月10日(月)から21日(金)まで、多久市高齢者趣味の作品展を開催しました。会場の市役所1階ロビーには、写真、絵画、書、手芸・工芸の4部門合わせて54点の力作が並びました。この作品展は、高齢者の文化活動を促すとともに、制作者の生きがいづくりを推進し、来場者との交流を深めることを目的に、毎年開催しています。

書で金賞を受賞された長尾フサさんは、出品者の中で最高齢の102歳。新元号の「令和」を力強い筆遣いで書かれました。手芸・工芸部門で金賞を受賞された今泉静子さんは、繊細なレースのテーブルクロスを編まれていました。お二人の作品は、佐賀県シニアアートフェスタ(主催：県長寿社会振興財団)にも出品され、長尾さんは特別賞を、今泉さんは同財団の理事長賞を受賞されました。

日本の電気工学の祖 志田林三郎博士モニュメント除幕式

6/22[Sat]

多久市を代表する偉人のひとり、志田林三郎博士モニュメントの除幕式を、JR東多久駅敷地内の東多久交流プラザ前で行いました。

このモニュメントは、佐賀県が開催した「肥前さが幕末維新博覧会」を記念して制作されたものの複製で、先人を顕彰し、郷土への誇りと愛着心を育むためにと、肥前さが幕末維新博推進協議会から市に寄贈されました。

東多久町出身の志田博士は、幼少期から学問に秀で、電気工学の技術発展に大きく貢献されました。訪れた人は、「モニュメントがとてもリアルで、志田博士が実際にいるようです」と話されていました。多久の先人・先覚者を身近に感じられるモニュメントです。ぜひご覧ください。



▲(左から)野田勝人 佐賀県議会議員、横尾俊彦 多久市長、田中裕之 佐賀県地域交流部文化・スポーツ交流局長、中島慶子 多久市議会副議長、野田和成 九州旅客鉄道株式会社 唐津鉄道事業部長、大島克己 東多久町嘱託員会会長

歴代領主が初揃い 多久の歴代領主と遺蹟展

4/1[Mon]~6/30[Sun]



▲歴代領主の肖像画と、県重要文化財でもある立葵蒔絵螺鈿が展示

6月30日まで多久市郷土資料館で開催した、「多久の歴代領主と遺蹟展」。5代領主 多久茂村の肖像画の複製が加わり、多久家全領主すべての肖像画や墓所、関連遺跡の写真などが一堂に並び、期間中は熱心な歴史ファンが多く訪れました。

藤井伸幸館長によって見出された、領祖、龍造寺長信の妻・芳岩自身とみられる線刻画の写真と、芳岩が建てたとされる「芳岩妙春逆修塔」などの関連資料写真も展示。藤井館長は「線刻画自体が珍しいもので、芳岩自身なのかを特定するのに苦労しました。また、今回は女性に注目し、領主と関わりのある女性たちが寄進したとされる石仏や多久家に伝わる立葵蒔絵螺鈿などにも展示しました」と紹介しました。